２０２７（令和９）年度

日本語コース入学ガイド

学校法人三重徳風学園

徳風高等学校　徳風技能専門学校

はじめに

本学園は、次の２つの学校像の実現を目指しています。

○“「困り感」や「生きにくさ」を感じながらも何とか生きていこうとする子どもたちを受け入れ、仲間と共に学校生活を送る場を徹底して保障する学校”

○“生徒が「社会人として必要な基礎的・基本的な学力」と「職業人として必要な実践的・専門的な技能」を身に付け、入学時に想定されたよりも大きな成長を遂げて卒業する学校”

日本には、日本語を自由に使えず「困り感」や「生きにくさ」を感じながらも一生懸命に生きている子どもたちがたくさんいます。三重県では、公立小中学校における日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の在籍率は全国第１位（令和元年５月１日時点）となっています。そこで、本学園は、「外国にルーツを持ち、外国につながる日本語指導を必要とする生徒等」を受け入れ、**日本語の習得と高等学校卒業の両方を目指す「日本語コース」**を令和３（2021）年度に開設しました。

本学園は、このように一貫性のある学校経営理念と生徒受入方針の下、**“専門的・本格的な日本語教育を受けながら高等学校卒業を目指すことができる三重県内唯一の学校”**として、進化を遂げていこうと考えています。

さあ、高等学校の学習に必要な**「学ぶための日本語」**と、卒業後の自立と社会参加に必要な**「生きるための日本語」**を本学園の**「日本語コース」**でマスターし、自分の夢と希望に向かって大きな一歩を踏み出しましょう！

Ⅰ　徳風って、どんな学校？

本学園には、**他の学校にはあまり見られない独自の仕組みや取組**がたくさんあります。私たちは、それらを**“徳風スタイル”**と呼んでいます。その一部を次に紹介します。

“徳風スタイル”

○　ホームルーム

ホームルームは**３０人**を基本としています。なお、**日本語コースは２０人**とします。

○　授業

授業は**9時３０分**に始まり、１コマ５０**分**を基本としています。

○　併修

徳風技能専門学校の授業（例えば日本語を学ぶ授業等）を受け、その単位は徳風高等学校の単位として認定されます。この**高専併修**という仕組みにより、両校の卒業が可能になります。

○　中間試験・期末試験

試験期間は**５日間**と長くし、一日に受ける試験を少なくしています。

○　補充授業

長期入院や不登校等のやむを得ない理由で欠席が多くなり、単位の認定が困難となった生徒には、年度末に通常の時間割とは別に特別時間割をつくり、不足する時間数の補充授業を実施しています。

○　スクールバス

登下校時は、学校と亀山駅の間を**約５分間**で運行するスクールバスがあり、**無料で利用**できるようにしています。

○　生徒寮

遠方の生徒だけではなく、基本的生活習慣に課題を持つ生徒等も入寮できます。

なお、日本語コースの生徒の入寮については、入寮希望生徒の日本語能力を踏まえつつ、他の寮生と無理なく集団生活を送ることができると認められる場合は、**１年次からの入寮も可能**としています。

Ⅱ　日本語コースって、どんなコース？

Q：どんな人のためのコースですか？

A：日本語の力が不足しているために、高校での学習に不安を感じている人を積極的に支援するコースです。「日本語を自由に使えるようになりたい」、「高校を卒業して将来も日本で生きていきたい」という人、**特に外国にルーツを持ち、外国につながる人や外国から帰国した人に最適なコース**です。

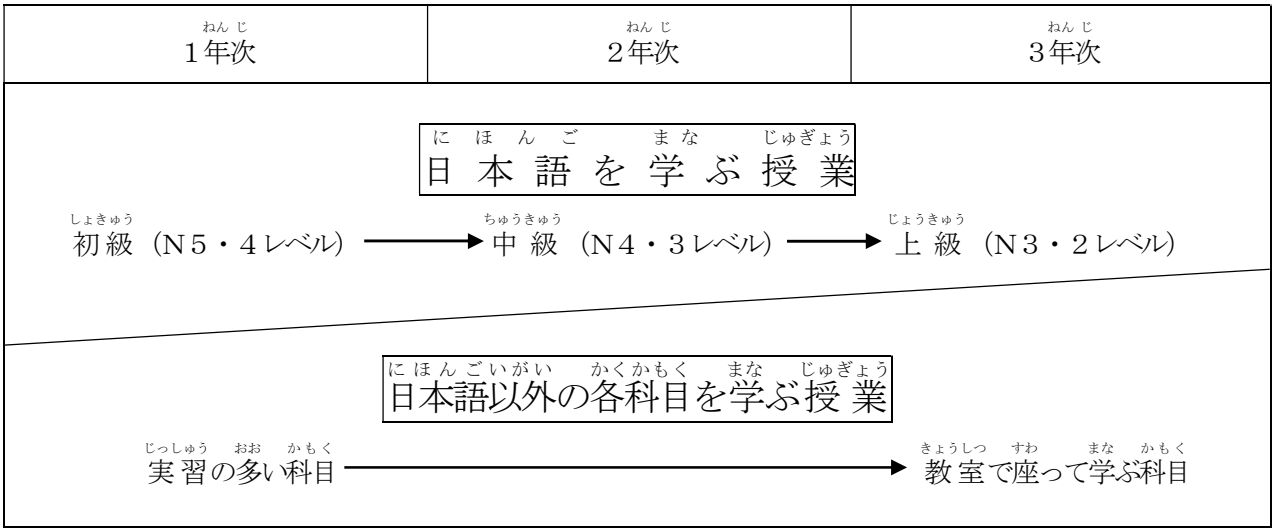
Q：どんな授業を受け、どのように学んでいくのですか？

A：「日本語を学ぶ授業」では、日本語の初級から上級まで学んでいきます。特に１年次は、日本語を学ぶ授業を多くして集中的に学びます。**進学を希望する人は「日本語能力試験（JLPT）」のＮ２以上の合格、就職を希望する人はＮ３以上の合格をそれぞれ目指します。**

また、「日本語以外の各科目を学ぶ授業」では、高校卒業に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語等の必修科目を中心に、実習の多い科目から教室で座って学ぶ科目へと順に学んでいきます。

なお、年次が進むにつれて、「日本語を学ぶ授業」は少なくなり、逆に「日本語以外の各科目を学ぶ授業」は多くなります。

カリキュラム全体のイメージ図



（備考）「日本語を学ぶ授業」も「日本語以外の各科目を学ぶ授業」も授業は全て日本語で行います。

２０２６年度日本語コース入学生の教育課程（カリキュラム）

教科		科目（単位数）			
		１年次	２年次	３年次	計
普通教科	国語		現代の国語（2）	言語文化（2） 論理国語（4）	8
	地理歴史		地理総合（2）	歴史総合（2）	4
	公民		公共（2）	政治経済（2）	4
	数学		数学Ⅰ（3）	数学Ⅰ（2）	5
	理科		科学と人間生活（2）	生物基礎（2）	4
	保健体育	体育（2）	体育（2）	体育（3）	7
			保健（1）	保健（1）	2
	芸術	音楽Ⅰ（2）	書道Ⅰ（4）		6
	外国語	英語コミュニケーションⅠ（3）	論理・表現Ⅰ（1）	論理・表現Ⅰ（1）	5
	家庭		家庭基礎（2）		2
	情報	情報Ⅰ（2）		情報Ⅱ（2）	4
	総合（学）	総合Ⅰ（学）（2）	総合Ⅱ（学）（2）	総合Ⅲ（学）（2）	9
		総合基礎（学）（1）	インターンシップ（2）		
専門教科	文化・教養（学）			ライフスキル（学）（2）	2
		日本語Ⅰ（学）（１５）	日本語Ⅱ（学）（8）	日本語Ⅲ（学）（7）	３０
		日本語活動（学）（1）	日本語活動（学）（1）	日本語活動（学）（1）	3
総合的な探究の時間		2	1	1	4
単位数の総計		３０	３５	３４	９９

（備考）専門教科に属する「ライフスキル（学）」、「日本語Ⅰ（学）」等の専門科目は徳風技能専門学校の科目として学び、修得した科目の単位は、徳風高等学校の単位としても認定されます。

Ⅲ　日本語コース募集要項

１．入学定員・出願資格

入学定員	出願資格
２０名	中学校卒業または卒業見込みの者

２．入試区分・募集枠

入試区分	募集枠
推薦入試（専願）	入学定員の８割
一般入試（併願）	推薦入試の合格者数による。
特別入試（専願）	推薦入試・一般入試で入学定員に満たない場合に実施します。

３．出願要件・入試方法

入試区分	出願要件	入試方法
推薦入試Ａ（専願）	第３学年の９教科の評定合計値が２３以上で、人物に優れ、中学校長が推薦する者。	○個人面接
推薦入試Ｂ（専願）	入学を強く希望し、学習意欲の高い者	○筆記試験 ・「日本語」40分、100点 ○個人面接
一般入試（併願）	入学を希望する者	○筆記試験（３教科） ・「日本語」40分、100点 ・「数学及び英語」40分、各50点。 （マークシート方式で解答。）
特別入試（専願）	入学を強く希望し、学習意欲の高い者。	推薦入試Ｂ（専願）と同じ

○ 中学校の担当者は、「入学相談」を、面談または電話（できるだけ面談でお願いします。）、出願期間の前日までのできるだけ早い時期に必ず受けてください。

○次の(1)～(5)に留意してください。

(1)　日本語コースの出願要件については、上記の出願要件に加え、次のア、イの両方を追加の出願要件とします。なお、外国籍を有する者及び海外から帰国した者については、それぞれ入国後・帰国後の在日期間は問いません。

ア　日本語を系統的・総合的に学習する必要があり、日本語能力の向上を強く希望する者

イ　日本国際教育支援協会・国際交流基金主催の日本語能力試験（JLPT）の「Ｎ５」若しくは「Ｎ４」に合格した者または同程度の日本語能力を有する者

（2）　日本語コースの各教科の筆記試験は、問題用紙等の漢字に読みがな（ルビ）が付いています。

（3）　日本語コースの日本語の筆記試験は、日本語能力試験（JLPT）の「Ｎ５」若しくは「Ｎ４」に合格できるレベルに達しているかどうかをみる内容です。

（4）　日本語コースの個人面接は、すべて日本語で行います。

（5）　「Ｎ３」以上に合格した者または同程度の日本語能力を有する者は出願できません。

４．出願期間・試験日・合格発表日

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
推薦入試	１２月１日（火曜日）～１月８日（金曜日）	１月１５日（金曜日）	１月２０日（水曜日）
一般入試	１２月１日（火曜日）～１月１５日（金曜日）	１月２２日（金曜日）	１月２７日（水曜日）
特別入試	実施する場合は３月中に実施する予定です。詳細は、２月中旬までに学校のホームページでお知らせします。		

５．出願手続き

（1）次の書類を提出してください。

入試区分	出願書類	納入金
推薦入試	①「入学願書」 ②「調査書」（外国の中学校を卒業した者は「卒業証明書」及び「成績証明書」。日本語に翻訳したものも添付。） ③「推薦書」（推薦入試Ａ受験の場合） ④「在留カード」の写し（日本の中学校を過年度に卒業した者。）	15,000円（受験料）
一般入試	①「入学願書」 ②「調査書」（上記②と同じ。） ③「在留カード」の写し（上記④と同じ。）	

（1）出願期間内に、本学園のホームページ内「お問い合わせ」にある「入試概要」から「WEB出願サイト（プラスシード）」にて、出願情報の入力と受験料の支払いをお願いします。また、出願書類についても「入試概要」より該当書類を印刷いただき、出願期間内に提出してください。

（2）推薦入試について、第３学年の評定を行うことができない教科がある場合は、入試区分は「推薦入試Ｂ」となり、その具体的理由が分かる文書（様式自由）を校長名で作成・提出してください。

（3）受験に際して特別な配慮を要する場合は、事前連絡の上、出願期間の前日までのできるだけ早い

時期に、必要な配慮の具体的内容が分かる文書（様式自由）を校長名で作成・提出してください。

（4）出願書類を郵送する場合は、「入学願書在中」と朱書きした封筒（各自準備）に出願書類を同封し、簡易書留で送付してください。

（5）受験料はコンビニにてお支払いいただくか、ペイジーでお支払いください。納入期間は、出願期間初日の1ヵ月前から出願期間最終日までです。

（6）受理した書類及び納入済みの受験料は、理由の如何を問わず返還できませんので御了承ください。

（7）受験料の支払方法やWEB出願等の詳細については、本学園のホームページ内「お問い合わせ」から得られる冊子「徳風高等学校　WEB出願の手引き」を御確認ください。

6．合格手続き（入学金納入）

（1）合格手続きとして、下記の期間内に、入学金45,000円を納入してください。

入試区分	納入期間	納入金
推薦入試合格者	**1月20日（水曜日）～1月29日（金曜日）**	45,000円（入学金）
一般入試合格者	**1月27日（金曜日）～2月　5日（金曜日）**	

○　手続き方法の詳細は、合格発表時にお知らせします。

○　期間内の納入が確認できない場合は、入学辞退とみなします。

○　納入済みの入学金は、理由の如何を問わず返還できませんので御了承ください。

7．入学手続き（施設設備費納入）

（1）入学手続きとして、下記の期日までに、1年次の施設設備費170,000円（年額）を納入してください。

入試区分	納入期日	納入金
推薦入試合格者	**2月　5日（金曜日）**	170,000円（施設設備費）
一般入試合格	**3月17日（水曜日）**	

（2）一般入試（併願）の合格者も、期日までの納入が確認できた場合は入学するものとみなします。

（3）2・3年次の施設設備費は62,000円（年額）です。

8．授業料等

種別	月額	備考
授業料	0円 （年額0円）	国の「就学支援金制度」により、授業料の全部が免除されます。

○　授業料以外に、月額で教育充実費約14,200円、学年諸費約4,000円～約4,800円及び修学旅行積立金7,000円（1年次5月から2年次10月まで）の納入が必要です。

○　入学時に、制服・体操服・上履き・体育館シューズ・個人ロッカーの購入費及び教科書・副教材等の購入費の一括納入が必要です。その合計額は約120,000円です。

９．寮費

種別	月額	備考
寮費	40,000円 （年額480,000円）	水道光熱費を含みます。年額360,000円を３期（４・８・12月）に分けて120，000円ずつ納入。
食費	約35,000円	食材等の高騰等により変動があります。８月は閉寮のため納入不要。

○　入寮時の納入金は、入寮費160,000円と寮費１期分120,000円の合計280,000円となります。
入学手続き（施設整備費納入）と同じ期日までに納入してください。

入試区分	納入期日	入寮時納入金
推薦入試合格者	**２月　５日（金曜日）**	280,000円
一般入試合格	**３月１７日（水曜日）**	

10. 奨学金制度・奨励金制度

奨学金制度については、各県高等学校等修学奨学金、阿部育英基金及び三重徳風学園奨学金があります。いずれも学業成績等所定の条件を満たす場合は申請可能です。なお、三重徳風学園奨学金は、他の奨学金の補完を目的とし、他の奨学金を受給してもなお経済的理由で修学が困難な場合に申請可能としています。

また、奨学金制度とは別に、所定の条件を満たす生徒に年額100,000円（返還不要）を支給する**奨励金制度「三重徳風学園奨励金制度（エンカレッジ制度）」を令和５年度に創設しました。申請手続き等は入学後に行うこととしています。**